

# 令和3年8月豪雨災害について



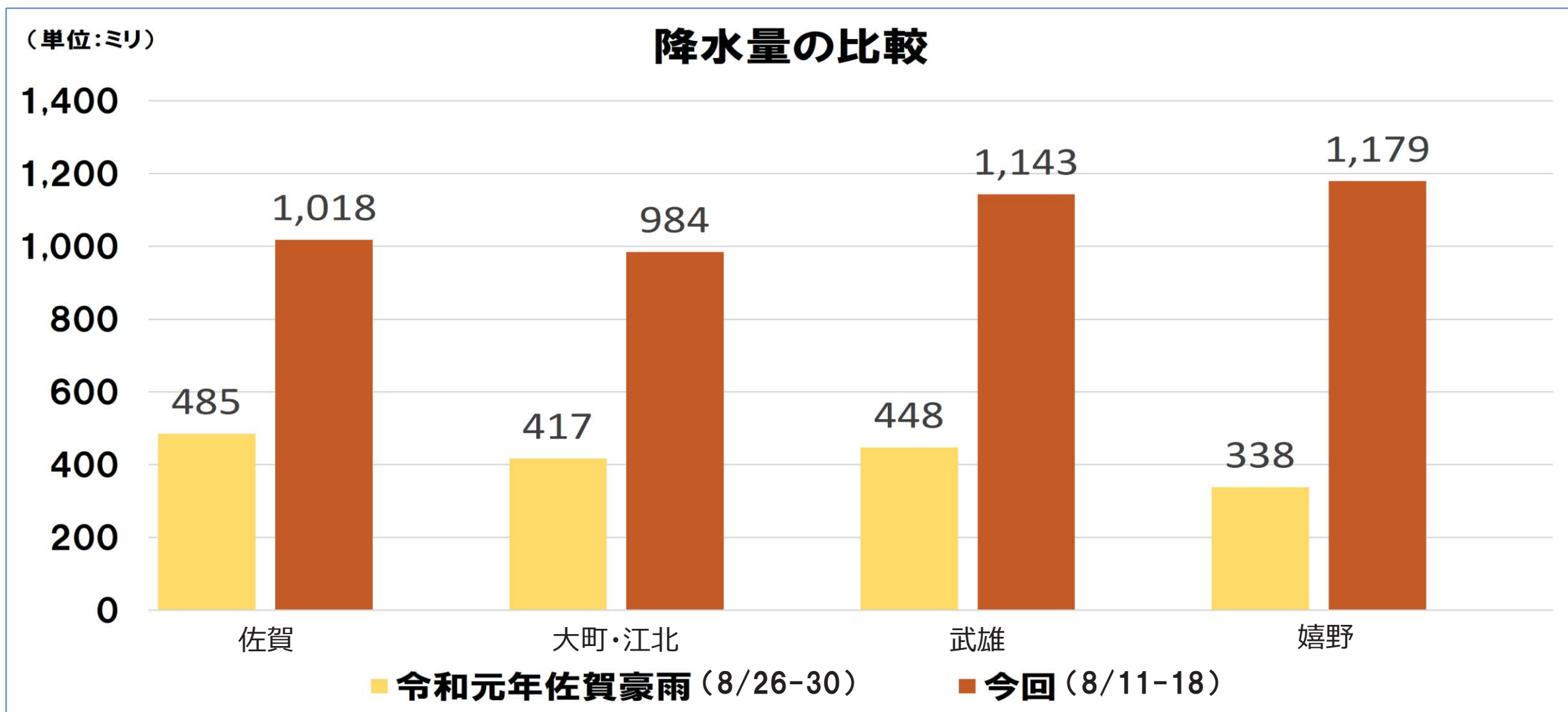
佐賀

4年続けて  
大雨特別警報  
発表

# ここ数年、九州では豪雨災害が連続して発生



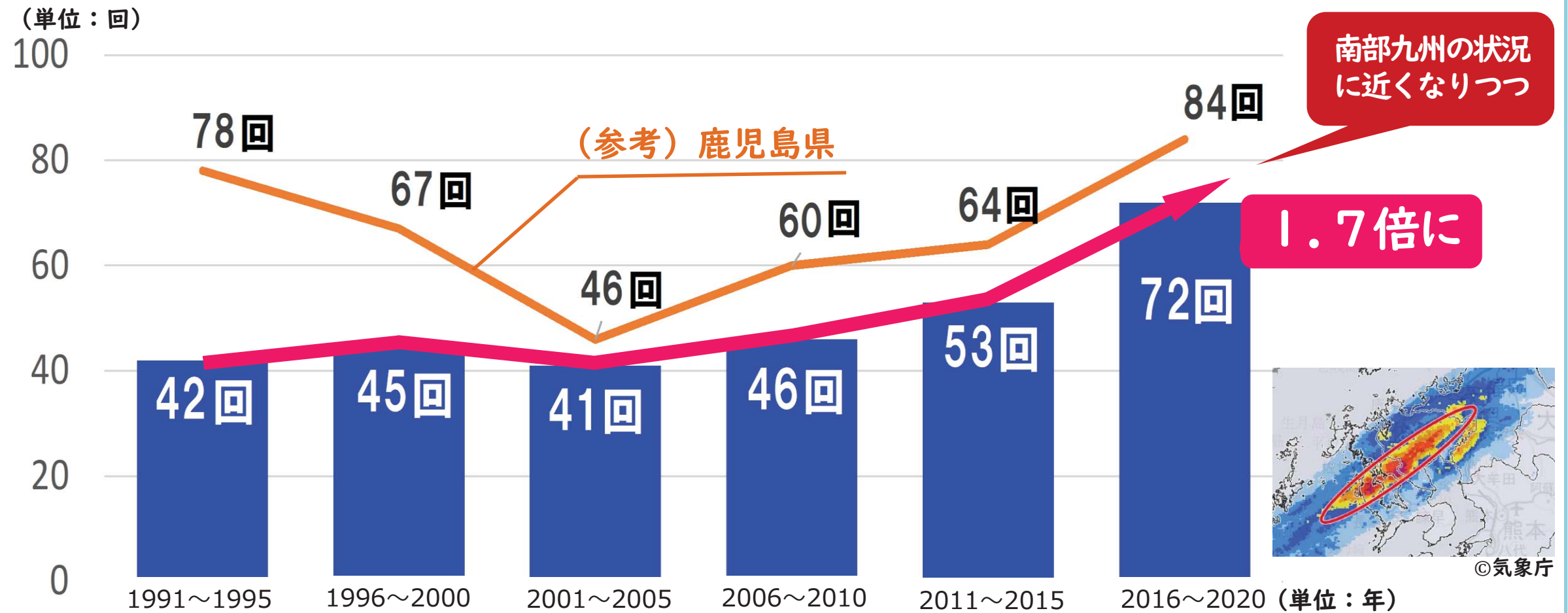
数十年に一度と言われた令和元年佐賀豪雨からわずか2年  
それを遥かに上回る今回の降水量



# 気候変動の影響で、気象条件がこれまでの北部九州とは全く異なるものに…

佐賀県の1時間20ミリ以上の降雨の回数（5年ごと）を見ると

《1時間20ミリとは、「どしゃ降り」で「ワイパーを速くしても見づらい」状態》



# 県内各地で大きな被害が発生

## 土砂災害

長時間の雨で土壌が緩み県内各地で土砂崩れが発生



## 内水氾濫

浸水位置が高くなり、また、広範囲に及んだため住宅への被害が甚大に



# 被害の発生状況

○ お亡くなりになった方はいません。

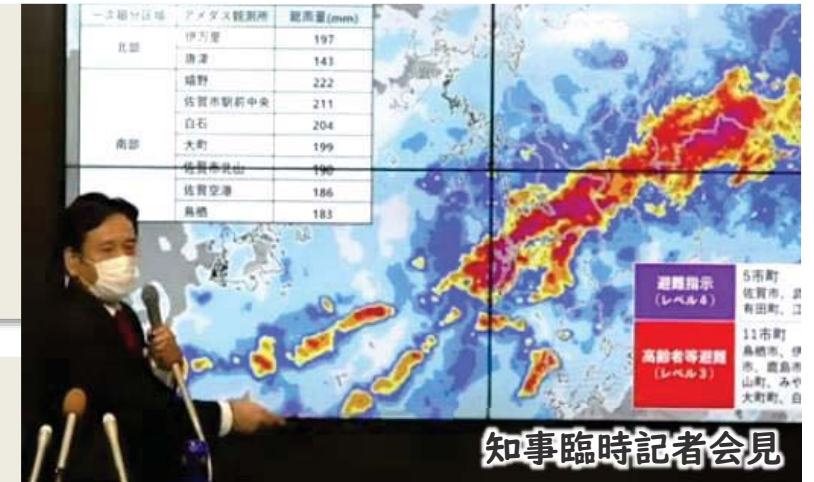
○ (8月25日 9:00現在)

軽傷	住家被害					避難者数(ピーク時)	
	全壊	半壊	一部破損	床上浸水	床下浸水	世帯	人数
4名	1棟	1棟	5棟	1,665棟	1,694棟	1,296世帯	2,573名

# まずは人命が最優先！いち早く態勢を整えました

## 12日

13日以降も非常に激しい雨が続くとの情報  
知事臨時記者会見で「ダブルの危機」を呼びかけ  
「大雨や土砂災害に警戒を怠らず  
警戒レベル4（避難指示）までに必ず避難を！」



## 13日

9時00分 災害警戒本部設置判断  
全庁あげた警戒態勢！

8/14 2:15 大雨特別警報発表 (2市)  
(16市町まで拡大)

## 14日

2時15分 災害対策本部設置 (本部長：知事)  
(災害対策本部会議等を計13回開催)  
10時45分 自衛隊に武雄市への派遣要請  
12時00分 自衛隊に大町町への派遣要請



**県防災ヘリによる状況把握**



**命を守るオペレーション**



浸水地区住民の救助（計3名）  
透析患者の搬送（計5名）

初めて  
航空調整  
を実施



県



海上自衛隊提供

自衛隊



海上保安庁提供

海上保安庁



県警

防災ヘリで  
土砂崩れを発見



嬉野市内野山地区

県警ヘリで  
土砂崩れを発見



ろくろ  
神崎市脊振町鹿路



いち早い応急復旧で県民のライフラインを確保



# 教訓化が活かされた例

油流出

令和3年

令和元年



油の流出を阻止



病院1階が浸水  
⇒令和元年同様に、**垂直避難**  
により**医療機能を維持**

車両避難

佐賀県遊技業協同組合と協定締結（R3.4.13）

災害時に、**54店舗で約2.2万台分の駐車場**が  
県からの要請により利用可能

※うち**2階以上で約5,100台分**



今回**14店舗(約2,600台分)**の駐車場が提供され、  
車両の水没に伴う**救援要請が令和元年佐賀豪雨**  
**に比べ減少**

# 気候変動対応型の復旧・復興を目指します

～これまでと次元の違うハード・ソフトの対応へ～

佐賀県(令和3年8月豪雨災害)復旧・復興推進本部(8/18～)

知事(本部長)

副知事(副本部長)

総括

## 被災者支援チーム

- ・避難所の支援
- ・避難者、仮設入所者の支援
- ・児童、生徒のケア など

## 市町支援チーム

- ・被災市町への業務支援
- ・罹災証明、住居被害認定調査の支援
- ・災害廃棄物処理支援
- ・CSOによる中長期ボランティア支援 など

## 風評被害対策チーム

- ・観光への影響対策
- ・県産品流通への影響対策 など

## 農林水産業支援チーム

- ・被災農林漁業者の再建支援
- ・被災農地・林地等の復旧 など

## 公共施設復旧対策チーム

- ・道路、河川などの復旧対応
- ・土砂災害の復旧対応 など

## 商工業支援チーム

- ・中小企業・小規模事業者等の再建支援 など



## 被災者支援チーム 被災された方に寄り添って支援します！

### 住宅支援

武雄市、嬉野市、大町町では

- 公営住宅や賃貸型応急住宅による無償受け入れ(最大2年間)
- ご自宅の応急修理の受付開始(9月上旬ごろ)

※他の市町においても活用できる制度があります。

**74世帯154人**  
の方が避難中(8/26現在)

### 義援金

- 災害義援金を受付中(8月23日から)  
県庁・総合庁舎ほか、日赤佐賀県支部、佐賀県共同募金会で受付

## 市町支援チーム 県・社会福祉協議会・CSOが連携して支援！

社会福祉協議会が  
災害ボランティアセンターを設置



推進本部に佐賀災害支援  
プラットフォーム(SPF)が参加



「業隠会議」(SPF主催)による  
被災者ニーズの情報共有



8/25現在

ボランティア数(累計)  
541人

災害支援団体数(合計)  
SPF31団体  
県外26団体

## 公共施設復旧対策チーム 早期復旧と災害に強い県土づくりを進めます！

### 応急対応

(ポンプ車による排水)



西田川

(土砂撤去等)



県道杉山小城線

(護岸崩壊)



晴気川

### 災害査定等に向けて必要な準備

(被災状況調査)



国道204号

(地すべり観測機器設置)



大舟地区

## 農林水産業支援チーム 農林業の経営が継続されるようしっかり支援します！

農業用施設・機械の修繕等  
経営再建に向けた支援



浸水したアスパラハウス



冠水した大豆

被災した農地、林地等の復旧



崩落した茶園



崩落した林地

- ・農業用施設や機械の修繕
- ・共済金の早期支払、制度融資の活用 など

- ・災害査定に向けた事前調査
- ・災害復旧工事の実施 など

## 商工業支援チーム 商工業者の事業再開を支援します！

第1弾

- 「災害復旧資金」の受付を開始(8月17日～)

融資限度額 6,000万円(設備資金、運転資金)

貸付利率 年0.9% 保証料率 年0%(県が全額負担)

※ 融資限度額を従来の3,000万円から6,000万円に引き上げ  
返済中の災害復旧資金の借換にも対応

- 「金融特別相談窓口」を設置 (県産業政策課内)



**被災された皆様に寄り添って  
最後のお一人まで  
全力を尽くします**

**お問い合わせ先**

**佐賀県（令和3年8月豪雨災害）復旧・復興推進本部**

**（佐賀県 総務部）** TEL:0952-25-7001 FAX:0952-25-7292  
MAIL : [zaisei@pref.saga.lg.jp](mailto:zaisei@pref.saga.lg.jp)